

国有林野所在市町村の魅力紹介

山形県最上郡最上町

山形森林管理署最上支署

最上町は山形県の北東部に位置し秋田県と宮城県に接しています。この最上町には「堺田分水嶺」があります。一般的に「分水嶺」は山岳の稜線などに存在します。しかしながら、この「堺田分水嶺」は堺田集落内の平坦な場所に存在し、全国的にも大変珍しく観光スポットして知られています。整備された公園内には東屋も設置されており、ベンチに腰をかけながら水路を穏やかに流れる「堺田分水嶺」を眺めてみてはいかがでしょうか。



太平洋と日本海へ分かれる「分水嶺」

国の重要文化財である、旧有路家住宅（通称：「封人の家」）と呼ばれる茅葺きの古民家があります。当時の有路家住宅は、村役場や旅館のような役割を担っていたようで、元禄二年（1689年）には松尾芭蕉が宿泊したとされ「奥の細道」に「封人の家」と記したことからこの呼び名で呼ばれるようになったようです。この建物はクギを使わずに建てられており当時の建築技法を間近で



松尾芭蕉ゆかりの宿

見学できます。「蚤虱（のみしらみ）馬の尿（ばり）する枕もと」俳人松尾芭蕉の句です。当時は住居のなかに馬屋があり大切に育てられたようです（公開期間：4月～11月頃）。

赤倉温泉スキー場は、適度な起伏に富んだ初心者から上級者まで楽しめるスキー場です。駐車場の入口には最上町出身のオリンピック選手や冬季国体優勝者の名前が入った看板が飾られています。スキースクールやレンタルショップも充実しており、小さなお子さんや初心者にも優しいスキー場です。また、グレ食も充実しており行列が出来るラーメン店もあります。スキー場の名前にもあるとおり、近くには温泉もあり一日ゆっくり楽しめます。



みんなで楽しめるバリエーション豊かなコース

山刀伐峠は最上町と尾花沢市の境に位置する全長約4kmの峠道です。「山刀伐」の名前の由来は山仕事や狩りをする際に被る「なたぎり」に似ているからだそうです。俳人松尾芭蕉が歩いた「奥の細道」の中で通った歴史の道であり、最大の難所だったようです。山頂までの道のりは曲がりくねった道が続き、傾斜がきつい箇所もありますが、現在では遊歩道も整備されており、スニーカーでも十分散策ができ気楽に森林浴やトレッキングを楽しめます。



ブナの原生林が美しい山刀伐峠

お問合せ先：最上町商工観光課 Tel.0233-43-2262